

子ども食堂を支える人たち



1・2 1月はいなり寿司、しっぽうどんなど季節のメニューを用意 3「おいしかった、ごちそうさま」と言ってもらえると嬉しい 4 別の子ども食堂スタッフが市内企業の提供食材を配達 5 スタッフの胸には名前を書いたバッジ 6・7 この日は70人以上の料理を用意。多いときは100人分 8・9 地域の親子連れでいっぱい。子どもだけでなく親同士の交流の場にも。帰りにレシピを聞いて帰る人もいます



各地で広がる子ども食堂

子ども食堂は、子どもが一人でも行ける無料または低額の食堂です。「地域食堂」「みんな食堂」という名称のところもあります。全国的に子ども食堂の数は増加しており、現在は1万カ所以上にのぼります[※]。市内では2022年には3カ所だった子ども食堂が、現在は10カ所に増えています。市内の子ども食堂は、観音寺市の委託事業として地域ボランティアで運営されています。口コミが広がり、参加人数が次第に増え、当初は10食ほど用意していた食事が100食に増加している所もあります。物価高騰の情勢を受け、2月には市から各食堂に補助金を交付しました。

地域に根付き、役割が広がっていく子ども食堂と、運営を支えている皆さんを紹介します。

[※]NPO法人全国子ども食堂支援センター 調べ

自分たちができる範囲で来た方に喜んでもらえるように

子ども食堂をやってみようと思いをかけたところ、すぐに20人ほど集まり、令和5年9月からスタートしました。食生活改善推進協議会のメンバーがいるので、栄養面だけでなく衛生管理にも気を付けています。

家では多くて10人分ほどしか作らないのに、子ども食堂では100人分くらい作ることもあり、最初はとまどいました。でも、私たちが楽しくないと来る人も楽しくないので無理しないことを心掛けています。開催後は1週間くらいは休んでいますが、すぐ「次は何をしよう」と考えるのが楽しいです。お子さんだけでなく、お父さんお母さんも喜んでくれていて、親の気持ちを楽にするのも役割の一つかなと思います。来てくれる子が私たちを覚えてくれて、普段会ったときにあいさつしてくれるようになりました。地域内の交流、見守りにもつながっていると思います。(代表 吉川茉佐子さん)



ときわサンサン子ども食堂(常磐地区)

おそろいのエプロンと赤い帽子は特注で作ってもらったもの。代表の吉川さん(写真前列左)だけ緑色のエプロンなのは、メンバーから「吉川さーん!」と呼ばれることが多いから、探さなくても分かりやすいように。





コープ観音寺店内に常設のフードドライブコーナーの様子

子ども食堂のテレビコマercialが流れ、認知度が高まり利用者は増えていますが、運営は地域のボランティアであり、会場の多くは公共施設が利用されています。みんなの広場kokoの食堂は、大喜多さんの自宅兼事務所を使用しており、参加者が増えるにつれ、トイレを3つに増設して対応しています。「参加者が増え、現在は飽和状態。企業や個人の方から、野菜や食材を頂いているので助かっています。市内スーパーからもよく連絡をいただき、月1、2回は

「食堂」から「居場所」へと広がっていく役割

フードドライブの物資を取りに行っています。提供された食品は、子ども食堂で活用するほか、一人親家庭向けのフードパントリー（無料の食品配布）にも使われています。当初は食事の提供が目的だった子ども食堂の役割が広がっていると大喜多さんは話します。「食」だけでなく、少しずつ居場所機能ができてきました。家以外の自分の居場所を求めている子どもたちは多いと感じています。子どもが安く食事でき、遊べる場所が今後も増えていけばいいと思います。文化芸術鑑賞やスポーツ観戦など、都会に比べて、地方は、いろいろな体験が少なくなりがちです。子どもたちには田舎ならではの体験を通して観音寺が良かったなどという記憶を持ってもらい、進学などで地元を離れても、また観音寺に帰りたいと思って欲しい。子ども食堂でそのような関わり方ができればと思っています」。



2



3



1

1 二家族でテーブルを囲み食事。自然に笑顔と会話が増える 2・3・4 この日は、スペアリブの煮込みや野菜たっぷりの豚汁など。手作りのカップケーキには地元農家から提供されたイチゴ(9ページ)で作ったジャムをたっぷりかけて 5 子どもが自分でお皿を取り、片付ける生活習慣も養われている



4



5

子ども食堂を応援しよう



食品

消費期限が記載され、期限に余裕がある未開封の商品
例：米、野菜、缶詰、乾物類、食用油、調味料、常温保存できる飲料



消耗品

・ハンドソープ
・除菌スプレー
・ウェットティッシュ
・ペーパータオル
※未開封の物限定



寄付金(運営資金)

子ども食堂を継続して運営していただけるよう、温かい支援をお願いします



ボランティア

・子ども食堂の運営
・学習支援への協力
・SNS等での情報発信

問い合わせ先 観音寺市子ども食堂ネットワーク事務局 ☎080-4030-1150

フードバンク

家庭で余っている食品を必要とする生活困窮者世帯へ提供します。

<受け取り可能な食品>米、野菜、飲料品、レトルト・インスタント食品、缶詰、調味料や乾燥食品などの食品、お菓子等（少量からの提供でも可）

<受付場所・問い合わせ先>
観音寺市社会福祉協議会 ☎25-7773

フードドライブ

家庭で余っている食品をスーパーなどに持ち寄り、必要とする福祉団体等を通じて寄付する取り組みです。

<市内参加店舗>
マックスバリュ観音寺駅南店/マルナカ大野原店/マルナカ柞田店/マルナカ観音寺店/マルナカ豊浜店/マルナカ八幡店/コープ観音寺

ほっと一息つける夜の食堂

栗井町の「みんなの広場koko食堂」では、子育ての悩みを話し合える相談会を兼ねた「夜食堂」を毎週水曜日に開催しています。

食堂の代表で、観音寺市子ども食堂ネットワーク事務局代表でもある大喜多恵子さんは「お母さんたちに週1回でも料理をしなくて良い日を作ってあげたくて。ママボランティアも家族連れで参加し、同じ目線で子育ての悩みを聞いてくれます」と話します。「子育ての悩みのない人はいないので、その悩みを吸い取ってあげるのも子ども食堂の役割。重大な悩みの方は専門の窓口につなぎます」。



観音寺市子ども食堂ネットワーク事務局 大喜多 恵子さん

堂を訪れた28歳の女性は「居心地がいいし、ご飯はおいしいし、子どもたちの遊ぶ場所も多いのでよく来ています。先輩ママに子育ての相談もします。日中は仕事なので、ここでは少しゆったりできます」と話します。元教師で、産後指導士や体力指導士の資格を持つママボランティアの西山莉沙さんは、「私にも子育ての悩みがあるので、自分の悩みも言いながら、同じ立ち位置で話しています。人と関わる場所は少なくなっていると思うので、毎日でも、月1回でも、みんなでご飯を食べることは大事だと思います。来ただけの笑顔を増やすような関わりができればと思います」。



ママボランティア (左) 水野 千恵さん (右) 西山 莉沙さん

精肉
野菜
果物



全国共済農業協同組合連合会
香川県本部
管理部 梶原 友貴さん

食材の提供が地域のつながり強化になれば

「季節の県産品を送る」というコンセプトで、精肉や香川県オリジナル米「おいでまい」、野菜、果物を一箱に詰め合わせて、県内の子ども食堂に毎月お送りしています。私たちは相互扶助を理念に事業をしており、助け合いの輪をもっと広げたいという思いで2022年から始めました。県内の農畜産物の消費が拡大し、農家さんの助けになればとも考えています。子ども食堂から、「いただいた野菜でシチューを作りました」などお手紙をいただくこともあり、うれしいです。子ども食堂は食事に困っている方のほかに、人とのつながりを求めている方も利用されていると思います。食材を提供しつつ、地域のつながりをもっと強めていけたらと思っています。



子ども食堂を支える人たち

市内の子ども食堂では、地元食材を使った手作りの食事を低額で提供しています。その背景には、企業や団体、個人の皆さんによる食材や物資の提供、寄付金などの支えがあります。今回は、5人の企業・団体・個人の皆さんを紹介します。

イチゴ



株式会社OFA
なぎさベリー株式会社（柞田町）
代表取締役 伊藤 孝一さん

子ども食堂との関わりで食を意識した生産へ

私たちがイチゴを生産する中で、傷んだり、熟れすぎたりするイチゴがどうしても出ます。以前はすべて畑に捨てていましたが、今はそれらのイチゴを、子ども食堂で有意義に活用していただき、うれしく思っています。イチゴを調理した写真、食べた感想などをいただく機会も増え、消費者（食）を意識した生産への取り組みにもつながっています。私は東京からのIターン就農ですが、野菜や果物が日々成長する過程を身近な景色として見られる環境は貴重なものと感じております。イチゴを食べた子どもたちが、地元にはイチゴの産地があると知ってくれたらうれしいです。これからも子ども食堂のイベントなどでご協力させていただければと思います。

豆腐、
大豆商品



株式会社カンショク（柞田町）
専務取締役 秋山 昌己さん

手間暇をかけた商品の活用、ありがたい

豆腐・油あげ等大豆加工品で、「余った」・「欠けている」などの事由により流通できない商品を、数年前から子ども食堂に提供しています。豆腐は“日配商品”という呼び名のとおり毎日製造しており、品質に厳しくなるほどフードロスが起りやすくなります。手間暇かけて作った商品を捨てるのはつらいため、活用していただけるのはありがたいです。当社では提供する商品を、子ども食堂の方に取りに来てもらっています。豆腐、油あげ以外にも厚揚げ、豆乳など、何があるかは日によって変わります。私たちはこれからも地域と共に歩み、一人でも多くの方に豆腐を食べていただけたらうれしいです。

野菜



久保さん

自宅で食べきれない野菜を有効活用して

家庭菜園で余った野菜を地域の子ども食堂に提供しています。献立の都合があると思うので、前もって「こんな野菜が余ってるけど、どう？」と連絡しています。1月は里芋（写真上）などを持って行ったので、献立が芋炊き（写真下）になったそうです。食べきれず廃棄せざるを得ない野菜を使ってもらえると張りがあります。子ども食堂は地域の人々がボランティアで楽しそうにやっているし、時間になるとあちこちから車が公民館に集まり、子どもたちが周辺で遊び回る様子を見ると、「ああ、いいなあ」と思います。家で野菜を作っている家庭は多いと思いますが、作り過ぎて残っているところもあるのではないのでしょうか。食材を子ども食堂で有効活用する取り組みが広がればと思っています。

精肉



原食肉店（村黒町）
原 加代子さん

子ども食堂をやっている人の手助けになれば

冷凍ハンバーグと冷凍すじ肉、鶏皮を、市内外の子ども食堂に提供しています。どうしても商品が余ってしまい、有効利用できないかという思いがあり、子ども食堂さんにお声掛けをしたのがきっかけです。市内では5カ所にお渡ししていますが、他にも希望する子ども食堂さんがいればご連絡ください。もし、「子ども食堂をやりたい」と言われても私にはできないと思います。子ども食堂の運営をしている人たちのことは本当にリスペクトしています。少しでもその方たちの助けになれば、二次的に関わることで支えられているならうれしいです。それで子どもたちの成長につながるなら良いことだらけですね。このような関わり方が少しずつ広がっていかばと思っています。

観音寺市子ども食堂防災フェスタ2025



2023年に開催した第1回目の子ども食堂フェスタに続いて2回目となる今回は、「防災」がテーマ。災害はいつ起こるか分かりません。有事の際には、子どもたちが自分で身を守ることができるよう、ダンスなどを通して楽しく学びましょう。

日時 3月9日(日)午前10時～午後3時
会場 ハイスタッフホール大ホール、ロビーほか
内容 ・ダンスなどのステージイベント
 ・防災グッズ、防災食体験コーナー
 ・トレーラーハウスやキャンピングカー展示
 ・防災豆知識(火起こし、ロープワークなどの体験)
主催 観音寺市子ども食堂ネットワーク

「フードリボン」を知っていますか？

地域で子どもたちの食事を支える新たな子ども食堂の形です。飲食店を利用するお客さんが300円を子どもの一食分として寄付することで、子どもたちがそのお店で一食分の食事ができます。子どもをまちぐるみで支援するこの取り組みは、全国各地で広がっています。



ありがとうございます。
いただきます！

フードリボンの仕組み

- 1 地域の大人が参加店で「リボン」を購入する
- 2 購入したリボンが参加店内に掲示される
- 3 お店のリボンを使って子どもたちが食事できる



市内のフードリボン参加店

遊食房屋 観音寺総本店

住所：本大町1495番地5
フードリボン実施時間：毎週月曜日～木曜日
 17:00～18:00 (利用年齢：3歳～12歳)
定休日：不定休

家 cafe ろくべえ

住所：村黒町348番地4
フードリボン実施時間：15:00～16:30
 (利用年齢：5歳～中学生まで)
定休日：水曜日 第1・第3日曜日

洋食屋チンパンジー

住所：杵田町乙1633番地1
フードリボン実施時間：毎週水曜日～金曜日
 17:00～19:00 (利用年齢：小学生以下)
定休日：月曜日。火曜日は昼のみ営業

やぎひげcafe

住所：観音寺町甲2918番地17
フードリボン実施時間：8:30～15:00
 (利用年齢：中学生以下)
定休日：木曜日

こがね製麺所 観音寺店

住所：坂本町一丁目3番15号
フードリボン実施時間：6:00～15:00
 (利用年齢：子どもであれば利用可)
定休日：無し

**フードリボン参加店の詳細や
 利用方法などはこちら**



問い合わせ先 子育て支援課 ☎23-3962

みんなの広場koko食堂

時 毎週土曜日
 11:00～16:00
所 ぱぴぷぺぽhouse
 (栗井町1192番地2)
料 子ども100円・大人200円
数 約30人(要予約)
 ※毎週水曜日17:00～20:00
 に夜食堂を開催
問い合わせ先
 ☎080-4030-1150



市内には10カ所の子ども食堂があります

各食堂には電話やQRコードから事前予約をお願いします。子ども食堂のお手伝いをしてくれるボランティアを随時募集しています。宿題を手伝ったり子どもたちと遊んだりしてくれる学生や生徒さんも大歓迎です。



みんなの広場koko食堂 (栗井町)

観音寺グランドホテル子供食堂

時 第3土曜日(変更あり)
 11:00～13:30
所 観音寺グランドホテル
 (坂本町五丁目18番40号)
料 子ども100円
 大人 200円
数 約100人(要予約)
問い合わせ先
 ☎0875-25-5151

やぎひげこども食堂

時 第1・3日曜日(変更あり)
 16:00～20:00
所 やぎひげcafe
 (観音寺町甲2918番地17)
料 子ども100円
 大人 300円
数 約30人(要予約)
問い合わせ先
 ☎090-1004-2102 (竹内)

はっぴーあい 子ども食堂

時 第4土曜日
 10:00～13:00
所 観音寺東公民館
 (茂西町一丁目1番28号)
料 子ども100円
 大人 200円
数 約35人(要予約)
問い合わせ先
 ☎090-1326-1434 (大西)

子ども食堂GOGO!キッチン

時 第4水曜日
 14:00～19:00(変更あり)
所 木之郷公民館
 (木之郷町795番地)
料 子ども100円
 大人 200円
数 約50人(要予約)
問い合わせ先
 ☎080-4036-3440 (三好)

にしくにたの笑顔食堂

時 毎月1回土曜日
 11:00～14:00
所 天理教西杵田分教会
 (杵田町乙2152番地3)
料 子ども100円
 大人 200円
数 約40人(要予約)
問い合わせ先
 ☎0875-24-2367 (久保)

ときわサンサン子ども食堂

時 第4土曜日
 11:00～13:00
所 常磐公民館
 (植田町458番地3)
料 子ども100円
 大人 300円
数 約30人(要予約)
問い合わせ先
 ☎090-2784-3199 (吉川)
 ☎090-2899-4222 (森)

子ども食堂 まねきねこ

時 第2土曜日
 12:00～15:00
所 豊浜南部集会所
 (豊浜町和田甲493番地1)
料 子ども100円
 大人 200円
数 約30人
問い合わせ先
 ☎080-8636-7547 (小山)

ネムの木子ども食堂とよはま

時 毎週水曜日
 17:00～18:30
所 ネムの木デイサービス豊浜
 (豊浜町姫浜41番地1)
料 子ども100円
 大人 200円
 ※保護者同行か送迎を
数 約20人(要予約)
問い合わせ先
 ☎0875-52-1808

子ども食堂 ひととき

時 第3土曜日
 10:00～13:00
所 大野原交流センター
 (大野原町大野原1267番地1)
料 子ども100円
 大人 200円
数 約35人(要予約)
問い合わせ先
 ☎090-9453-6167 (高橋)

問い合わせ先 子育て支援課 ☎23-3962 / 観音寺市子ども食堂ネットワーク ☎080-4030-1150